

第18回 奥むさし駅伝競走大会

【出場結果】

実施日：1月26日(日)

コース：東飯能駅西口前～西吾野駅前折返し～飯能市内銀座通り(きもの処かきめま前)

総距離：6区間 38.8km チーム成績：1時間56分23秒 9/148位

出場者・リザルト：

1区 親崎 達朗	8/148位	29分33秒
2区 渡辺 瑠偉	8/148位	16分56秒
3区 八木沢 直也	13/148位	13分15秒
4区 西沢 晃佑	5/148位	13分11秒
5区 加藤 平	1/148位	14分34秒 (区間新)
6区 石原 洸	11/148位	28分54秒

【レポート】

事前の予報では雨が見込まれたこともあり、天候が心配されましたが、曇りがちではあるものの風もなくランナーには絶好のコンディションの中でレースがスタートしました。

駅伝の流れを担う1区には安定感抜群でエース格の親崎を起用し、駿河台大学の外国人選手が一人飛び出して進む中、親崎は第2集団でしっかりとペースを刻み、ラスト1kmで集団から少し離れたものの、集団からは秒差の8位で2区の渡辺に襷を渡しました。

2区を任された渡辺は11月の東日本実業団駅伝でコンディションが整わず控えに回った悔しさをバネに練習を積んできており、走り込みの面で不安を抱くもののレースの流れに乗ってペースを刻み、順位を1つ上げて3区の八木沢へ。

3区は長い間故障生活から復調してきた八木沢を起用し、八木沢は果敢に登り基調のコースを攻めて走ったものの、1つ順位を落として4区の西沢へ。

4区の西沢は、本来はエース区間を任せられる力を持っていますが脚の違和感もあり、短い距離での起用となり、勢いのある走りで1つ順位を上げて5区の加藤へ。

5区の加藤は、昨年もこの区間を走って区間2位の好成績をマークしており、ここ最近の練習では更に皮むけた走りが出来ていた中、スタートからハイペースで突っ込むと、そのままペースを落とすことなく、区間新記録の走りで順位こそ変わらないものの前方チームとの距離を一気に詰めてアンカーの石原へ。

アンカーに起用された石原は、マラソン練習と並行して駅伝レースの出場となりコンディションを整えることが難しかったものの、彼らしい諦めない走りで順位を2つ落としたものの、全体9位でのゴールとなりました。

ShinDengen /



1 区 親崎



2 区 渡辺



3 区 八木沢



4 区 西沢



5 区 加藤



6 区 石原

【総括】

ここ最近の奥むさし駅伝は故障者も多く、オーダー編成に非常に苦勞しながら出場していましたが、今年は例年に無く良いコンディションの中で試合に出場することが出来ました。

また出場するにあたって、昨年の東日本実業団駅伝で後塵を拝した強豪実業団チームに一つでも勝つことを目標に掲げました。

1区から先頭集団とほぼ変わらない位置でレースを進めたことで良い流れを作れ、5区では区間新記録もマークしたものの、結果としては一般の部9位となり、強豪実業団には1チームも勝つことが出来ませんでした。

但し、その中でもゴールタイムは1時間56分台のチーム新記録を出すことが出来、チームの底上げは出来てきていますので、今後更に上のレベルで勝負するために、エースだけが活躍するチームではなく、誰がエース区間を任されてもしっかりと結果を残せる総合力のあるチームを構築していきたいと思えます。

次戦は2月2日（日）に開催される埼玉県駅伝となりますが、今回課題を一つでもクリアし、チームが飛躍出来る結果を求めて参戦して参ります。

最後になりますが、本年も早朝から沿道に駆け付けて頂き、ご声援を頂きました、鈴木社長をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力頂いた会社関係者の皆様に、あらためましてチーム一同、御礼申し上げます。



今後も一丸となって、精一杯活動して参りますので、引続きまして、ご声援賜りますよう宜しくお願い致します。有難う御座いました。